

タンパク質精製用液体クロマトグラフィーポンプ（2台）

1. 概要

細胞破碎溶液からタンパク質を粗抽出する。カラムの種類に応じて精製を行う。カラムの種類によりイオン交換、分子ふるい、分画が可能。分析カラムではなく大量分取用。加圧限界は1 MPaであり、液クロシステムの中では低圧ポンプに属する。大量の破碎液を一度に精製することが可能。タンパク質の粗精製から最終精製まで、凡そ全ての低圧クロマトグラフィー精製を行うことができる。



2. 特性

GE AKTA 加圧限界 1 MPa

3. 設置場所

研究棟1F生物実験室

4. 提出書類

実験・出張計画

5. 装置担当者、連絡先

森本 幸生 （内線2371）

6. その他

大量精製に利用。低圧カラムバリエーションが豊富。